



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹 TEL 06-6233-2636

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,749	△4.7	211	20.4	219	△69.6	132	△77.0
2024年3月期第1四半期	4,981	1.8	175	—	720	—	575	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 173百万円(△70.6%) 2024年3月期第1四半期 589百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	28.40	—
2024年3月期第1四半期	74.49	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	9,591	3,820	39.8	494.38
2024年3月期	9,621	3,801	39.5	491.94

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,820百万円 2024年3月期 3,801百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,718	6.5	1,433	84.5	1,412	△2.2	989	△2.0	128.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	7,850,000株	2024年3月期	7,850,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	122,736株	2024年3月期	122,736株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,727,264株	2024年3月期1Q	7,727,264株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み雇用環境及び所得環境が改善するなか、インバウンド需要の増加や各種政策の効果もあり景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、地政学リスクへの警戒感や各国の政策金利の高まり及び中国経済の減速による世界経済の下振れリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。また個人消費につきましては、物価上昇の影響による実質賃金の低下があるものの全体的に底堅い動きとなっております。

当社グループを取り巻く環境は、原料価格や物流コストの高騰、為替相場の歴史的な変動を背景とした輸入仕入価格の上昇といった厳しい事業環境が続く中ではありますが、前期から引き続き仕入調達ルートの見直しや商品在庫の適正化等を進め、より収益性を高めるよう努めております。また、当社の国内外の生産・開発拠点を最大限活用したメーカー志向を推進するため、化粧品、日用品のR&D体制の拡充を進め、OEM・ODMメーカーとして研究開発力・企画提案力の強化を主軸に置き、企業価値を高め成長を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,749百万円(前年同期比4.7%減)となりましたが、利益面につきましては、仕様変更やサプライヤーの変更といった収益改善に努めた結果、営業利益は211百万円(前年同期比20.4%増)となりました。しかしながら前年同四半期に計上していたデリバティブ評価益が減少した結果、経常利益は219百万円(前年同期比69.6%減)と大きく減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円(前年同期比77.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業活動を促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売について、価格の見直しを進めたことや高付加価値商品のリピートが順調に推移し、また新規の大口ノベルティの獲得等もあり前年同四半期を上回りました。OEMについては、雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は受注が回復したものの、日用雑貨品の充填等については既存先からの新案件の獲得並びに増客の不足から前年同四半期を下回りました。また発送代行については、印刷物のコストアップやECへの移行といった環境の変化による通数の減少により大きく落ち込みました。

利益面につきましては、前期から引き続き販売価格の見直しを進めたこと、またアSEMBリ案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は2,361百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は90百万円(前年同期比34.1%増)となりました。

#### (商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、高額商品の投入や消臭袋及び鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品を中心として堅調に推移しており、また新商品開発においては潜在的需要を掴むアイデア商品の売上が好調でありました。しかしながら、収益確保が難しい商材の廃番を積極的に進めていき、新商品への入れ替えに取り組んでおりましたが、為替相場の急激な変動により価格設定で苦戦し新商品の投入が想定より少なくなったことで、前年同四半期をわずかに下回りました。量販店向けについては、ポリ製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、収益性を高める方針のもと低利益率の商品の販売を縮小していることが影響し減少となりました。

利益面につきましては、収益性の高い製品を導入できたこと、市場価値に合った仕様変更や廃盤を積極的に進めたこと、またサプライヤーの開拓等を行うといった原価低減に努めたことから、セグメント利益額は増加いたしました。

その結果、売上高は2,418百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は120百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少しました。これは主に現金及び預金や電子記録債権等が増加したものの、受取手形及び売掛金や棚卸資産等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少しました。これは主に短期借入金等が増加したものの、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は3,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金等が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	854,675	986,141
受取手形及び売掛金	2,675,168	2,467,765
電子記録債権	741,176	860,171
商品及び製品	1,547,869	1,536,108
仕掛品	198,899	148,267
原材料及び貯蔵品	452,591	427,950
その他	267,082	209,426
貸倒引当金	△808	△4,409
流動資産合計	6,736,654	6,631,421
固定資産		
有形固定資産		
土地	929,263	929,263
その他(純額)	970,166	983,743
有形固定資産合計	1,899,430	1,913,006
無形固定資産		
その他	24,176	31,074
無形固定資産合計	24,176	31,074
投資その他の資産		
その他	1,019,821	1,074,467
貸倒引当金	△58,564	△58,564
投資その他の資産合計	961,257	1,015,903
固定資産合計	2,884,863	2,959,984
資産合計	9,621,518	9,591,405
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085,895	997,352
短期借入金	2,620,000	2,926,500
1年内返済予定の長期借入金	191,420	191,420
未払法人税等	321,446	82,644
未払消費税等	86,313	80,543
賞与引当金	121,497	73,050
その他	450,689	482,579
流動負債合計	4,877,262	4,834,091
固定負債		
長期借入金	369,614	323,030
退職給付に係る負債	68,070	68,470
長期未払金	137,022	137,022
その他	368,238	408,566
固定負債合計	942,944	937,088
負債合計	5,820,207	5,771,180

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	1,926,029	1,903,970
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	3,392,479	3,370,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,384	227,588
繰延ヘッジ損益	4,084	2,677
為替換算調整勘定	215,363	219,540
その他の包括利益累計額合計	408,831	449,805
純資産合計	3,801,311	3,820,225
負債純資産合計	9,621,518	9,591,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,981,862	4,749,686
売上原価	3,952,239	3,680,746
売上総利益	1,029,622	1,068,939
販売費及び一般管理費	853,866	857,251
営業利益	175,756	211,688
営業外収益		
受取利息	44	183
受取配当金	5,032	5,319
為替差益	1,358	12,726
デリバティブ評価益	555,587	313
資材売却収入	1,264	1,328
その他	1,385	438
営業外収益合計	564,674	20,308
営業外費用		
支払利息	7,281	6,239
貸倒引当金繰入額	9,714	3,600
その他	2,651	2,682
営業外費用合計	19,647	12,522
経常利益	720,783	219,474
特別利益		
固定資産売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	720,792	219,474
法人税、住民税及び事業税	108,948	49,590
法人税等調整額	36,220	37,398
法人税等合計	145,168	86,989
四半期純利益	575,623	132,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	575,623	132,485



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	575,623	132,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,769	38,204
繰延ヘッジ損益	4,786	△1,407
為替換算調整勘定	16,678	4,176
その他の包括利益合計	13,695	40,973
四半期包括利益	589,318	173,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,318	173,459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,376,850	2,605,011	4,981,862	4,981,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,313	24,313	24,313
計	2,376,850	2,629,325	5,006,176	5,006,176
セグメント利益	67,753	108,003	175,756	175,756

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,361,910	2,387,775	4,749,686	4,749,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30,928	30,928	30,928
計	2,361,910	2,418,704	4,780,615	4,780,615
セグメント利益	90,831	120,857	211,688	211,688

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	58,756千円	43,718千円